

Ⅲ. 河川関係事業

平成19年度 補正予算のポイント

近年の繰り返し発生する風水害に対処するため、堤防整備等の災害防止対策を推進する。
また、河川堤防の点検結果を踏まえて河川堤防の強化を推進する。

1. 平成19年度 河川関係直轄事業費等一覧表

(単位:百万円)

項 目	平成19年度事業費			事業費計 (A + B)
	当初等 (A)	補 正		
		歳出 (B)	(ゼロ国債)	
河川事業費	36,995	6,940	(2,510)	43,935
都市水環境整備事業費	3,999	0	(150)	3,999
ダム等事業費	16,388	0	(135)	16,388
砂防事業費	16,892	998	(988)	17,890
建設機械設備費	461	0	(0)	461
小計(治水特別会計)	74,735	7,938	(3,783)	82,673
河川等災害復旧事業費	1,296	963	(0)	2,259
小計(一般会計)	1,296	963	(0)	2,259
中 計	76,031	8,901	(3,783)	84,932
附帯及び受託工事費	2,948	0	(0)	2,948
治水関係事業費計	78,979	8,901	(3,783)	87,880

注)※1:当初等には、12月までの追加配分(調整費等)を含む。

※2:事業費計には、ゼロ国債は含まない。

2. 平成19年度 河川関係補助事業費一覧表

(単位:百万円)

区分	岐阜県		静岡県		愛知県		三重県		合 計	
	補 正		補 正		補 正		補 正		補 正	
	歳出	ゼロ国債	歳出	ゼロ国債	歳出	ゼロ国債	歳出	ゼロ国債	歳出	ゼロ国債
河 川	280	(0)	39	(220)	1,997	(480)	525	(0)	2,841	(700)
都市水環 境整備	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
ダ ム	0	(0)	0	(139)	0	(0)	0	(0)	0	(139)
砂 防	0	(0)	0	(66)	18	(0)	100	(0)	118	(66)
海 岸	0	(0)	0	(0)	60	(0)	30	(0)	90	(0)
急傾斜地	0	(0)	0	(48)	0	(0)	0	(0)	0	(48)
住宅関連 特定治水	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
下水関連 特定治水	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
合 計	280	(0)	39	(473)	2,075	(480)	655	(0)	3,049	(953)

かのがわ きせがわ
狩野川水系黄瀬川 直轄河川災害復旧事業（直轄事業）

事業費 0.8 億円（歳出）

1. 事業箇所

狩野川水系黄瀬川（静岡県沼津市^{ぬまつ}）

2. 事業概要

平成19年9月台風9号の来襲に伴う出水により黄瀬川右岸の黄瀬川大橋下流で護岸がL=80mにわたり被災した。このまま放置すれば、さらに被害が拡大し、決壊に至る恐れがある。このため応急対策として直轄河川緊急復旧事業にて、護岸の復旧を実施し、平成19年9月に完了させた。今後、直轄河川災害復旧事業にて、本格的な護岸の復旧を実施する。

3. 整備効果

今回の補正予算により、被災した狩野川水系黄瀬川右岸（静岡県沼津市^{ぬまつ} 大岡地先^{おおおか}）での護岸の本格的な復旧を実施する。これにより、被災を受けた当地先の施設の復旧が完了する。



位置図



災害復旧箇所



護岸被災状況（下流側より）



護岸被災状況（正面より）

しょうない
庄内川水系庄内川直轄河川改修事業（直轄）
 事業費 1.5億円（歳出）

1. 事業箇所

しょうない
庄内川水系庄内川（愛知県きよすし清須市）

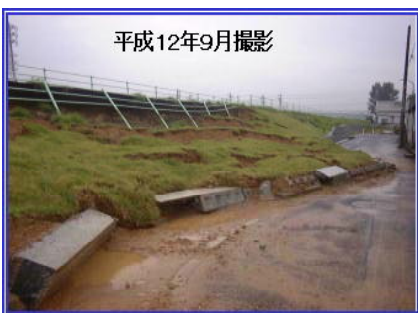
2. 事業概要

庄内川の堤防は、洪水流や雨水が堤体に浸透し、堤防の法崩れ等が生じる恐れが高い区間が存在する。これらの区間で、ひとたび破堤等の重大災害が生じた場合、沿川の名古屋市などにおいて広域で甚大な被害が発生する恐れがある。

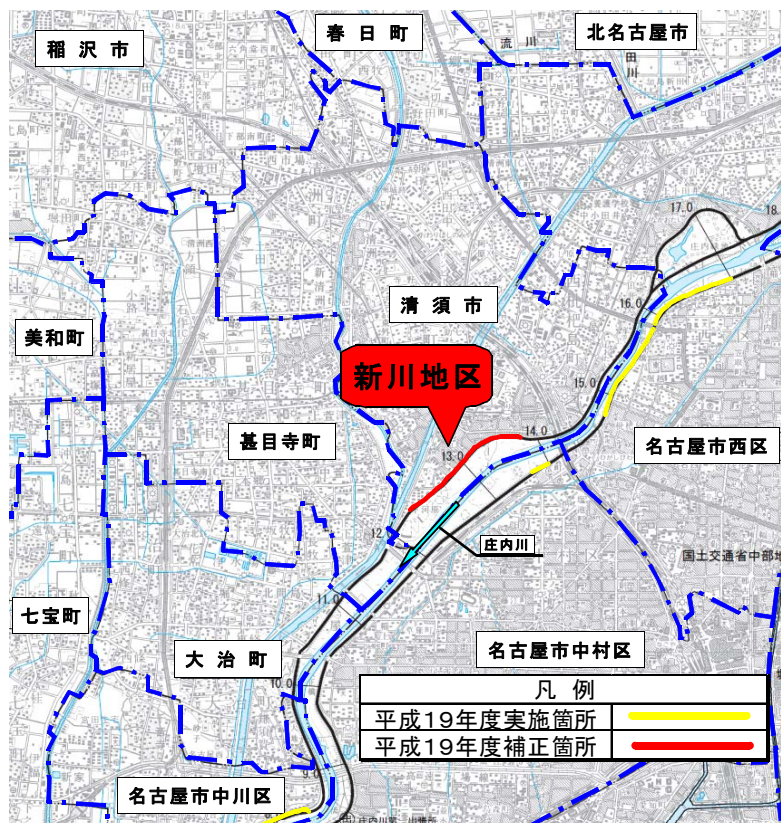
このため、被災履歴があり、安全度が低い堤防について、緊急的に堤防強化対策を行う。

3. 整備効果

今回追加的に予算を投入することにより、堤防の浸透に対し安全度が低い区間にドレーン工（L=1,400m）を整備し堤防強化を図る。これにより、新川地区の対策が完了し、浸透に対する安全度が向上する。



八田川の堤防裏法崩壊被災状況



日光川水系福田川床上浸水対策特別緊急事業（補助事業）

事業費 2.7 億円（歳出）

1. 事業箇所

日光川水系福田川（愛知県名古屋市中川区、海部郡蟹江町、海部郡大治町）

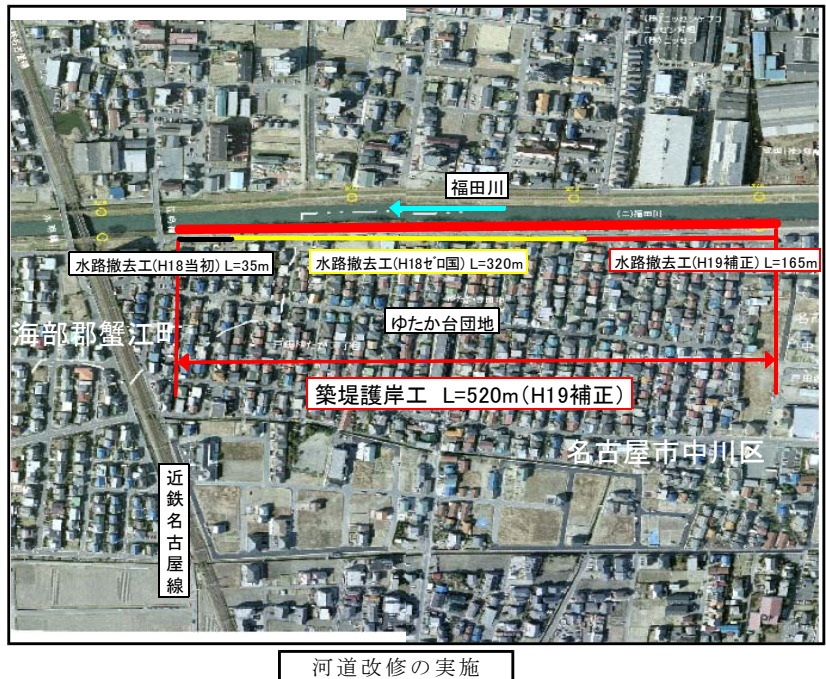
2. 事業概要

福田川沿川は、平成12年の東海豪雨において、浸水面積247.6ha、床上浸水105戸の被害を受けるなど近年浸水被害が発生した。これを受け、浸水被害の軽減を目的として、平成17年度より床上浸水対策特別緊急事業に着手し、河道改修や排水機場整備等の内外水対策を緊急かつ重点的に推進しているところ。平成21年度までの対策完了を目指している。

3. 整備効果

今回追加的に予算を投入し、名古屋市中川区内、蟹江町地内及び大治町地内において築堤及び護岸等の河道改修を実施する。これにより、床上浸水対策特別緊急事業で実施する築堤護岸工が完了する。

位置図・概要図



木曾川水系（揖斐川）直轄河川改修事業（直轄）
事業費 1.0 億円（歳出）

1. 事業箇所

木曾川水系揖斐川（三重県桑名市）

2. 事業概要

木曾川水系の河口部は、昭和34年の伊勢湾台風により甚大な被害が発生した。これを受け、再度災害防止対策として高潮堤防を築造した。

しかし、その後の広域地盤沈下によって、高潮堤防が沈下し機能低下を来した。このため、高潮堤防の機能回復のため整備を進めているところ。

3. 整備効果

今回追加的に予算を投入し、揖斐川右岸吉之丸地区の高潮堤防整備（L=100m）を推進する。これにより、吉之丸地区の高潮堤防の整備が平成20年度に完成し、高潮に対する安全度が向上する。



てんりゅう おおたぎり おおたぎり
天竜川水系太田切川 太田切床固工群（直轄事業）

事業費 1. 4 9 億円（歳出）

1. 事業箇所

てんりゅう おおたぎり こまがねし
天竜川水系太田切川（長野県駒ヶ根市）

2. 事業概要

天竜川は重荒廃地であり、中央構造線が位置するとともに、険しい地形と脆弱な地質のため、近年、土石流が頻発し、河道には過去からの流出土砂が不安定な状態で堆積している。太田切川周辺に位置する民家、国道153号、観光資源等、保全対象の災害を防ぐこと及び天竜川本川への流出土砂の抑制を目的として、平成20年度に継続して予定している床固工の整備を実施するものである。

3. 整備効果

今回の補正予算により床固工を1基完成させることで、土砂流出抑制効果を早期に高め、土砂災害に対する安全度の向上を図ることができる。



昭和39年出水による被害状況
（駒ヶ根橋を上流から）



昭和39年出水による被害状況
（現在のこまくさの湯付近）

凡 例	
H18以前	黒色
H19当初	黄色
H19追加	赤色
H20以降	緑色

